

# 登米高の志教育

「かかわる」「もとめる」「はたす」  
～ 夢ある限り挑戦！ ～

令和3年度 第5号

令和4年3月24日発行

企画・編集：志教育担当

## 今年度の活動を振り返って（5）

今年度の最終号です。ボランティア活動、進路行事などについて紹介します。

### 1 情報文化部のボランティア活動

かかわる はたす

登米公民館、登米児童館、登米北上こども園への寄せ植えプランターやマカロニリースの贈呈、社会福祉協議会登米支所等へのペットボトルキャップのピンクッション贈呈などの活動を行いました。また、情報文化部は美術部などとともに登米地域の文化祭にも作品を展示しました。



### 2 ボランティア活動

もとめる はたす

8月に登米市社会福祉協議会が主催して行われた「Jボラ探検隊」では救急救命、保育・幼児教育体験や募金活動に14名が参加しました。また、1月に開催された吹奏楽部の定期演奏会には12名が参加しました。定期演奏会が盛会だったのもボランティアのみなさんの力が大きかったのではないのでしょうか。



### 3 ものづくり企業見学会（2年生希望者）

もとめる

11月に2年生の希望者を対象に「ものづくり企業見学会」が実施されました。宮城県が主催する事業で、東和町米川の2社を訪問しました。見学と会社の概要説明を伺いました。質疑応答も活発に行われました。2年生のうちに会社見学ができる機会は限られているので、非常に良い機会でした。1月の「みやぎ県北ジョブフェスタ2022」など宮城県はみなさんの就職を応援しています。自分に合った進路先を見つけるきっかけになれば幸いです。



## 4 毎日の学校生活

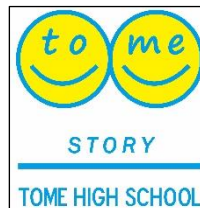
かかわる もとめる はたす

ここまで地域との連携や総合的な探究の時間、進路行事などを中心にお伝えしてきましたが、紹介したことだけでなく、学校行事、部活動、日々の授業やホームルーム活動などに取り組む中で志教育が掲げる「かかわる」「もとめる」「はたす」が実践されていると思います。毎日の活動が「志教育」実践の場です。毎日の活動こそ大切にしていきたいものです。



## Dream Challenge Plan 大解剖 (その3)

### 進路指導ストーリー 人と「かかわる」



コミュニケーション能力に関することを中心に設定されています。

#### 1 コミュニケーション能力を育む指導

- ・ 3年間を通した小論文，面接，マナー指導

※ 面接に関するマナー（身だしなみや言葉遣いを含みます。）は日頃から身につけることができます。面接練習の時にだけ行われるものではなく、日頃の行動が習慣となり、よいマナーに結び付いていきます。

- ・ 総合的な探究の時間の見直し

#### 2 系統的なキャリア教育による希望進路の実現

- ・ 自己理解の深化と進路意識の早期涵養
- ・ 課外講習，模擬試験の効果的展開

※ 模擬試験は希望者対象のものがほとんどです。自分で実践力をつけていくには非常に有効です。

- ・ 進路情報の発信

※ 進路委員による進路通信が3回発行されました。 登米小運動会での合同演奏（平成29年度）

#### 3 故郷を知り愛する態度の育成

- ・ 小・中学校と連携した志教育
- ・ 地域を理解する学習と地域活動への参加

※ 平成25年度に登米小学校，登米中学校，登米高校の3校が県の指定を受け，地域で連携して志教育を推進していったことがあり，現在でも3校が連携して取り組んでいます。以前紹介した地域清掃や小学生への読み聞かせ活動などが行われています。その他，中学校と高校の部活動交流なども実施されています。1年生の「職業人インタビュー」では登米小学校の先生にご対応いただきました。コロナ前はキッズマートへの支援や登米小学校運動会での中高吹奏楽部の合同演奏などが行われていました。今年度は中止となりましたが，登米中のキャリア講話を登米高校の教員が担当していました。地域の小・中・高が連携して地域の児童生徒を育てている登米地域です。



#### 4 情報発信

- ・ ホームページやオープンキャンパスでの情報発信 『登米高通信』の発行など

跋 「夢ある限り挑戦」は登米高が大切にしてきた言葉です。総合的な学習の時間（My Excellent lovely Time）のキャッチフレーズとして用いられ，定着してきたようです。さらなる成長に向けて，みなさんも，学校も，私たち教員も夢や目標に向かって挑戦し続けていきたいものですね。最後まで読んでいただきありがとうございました。夢ある限り挑戦！！（文責 志教育担当）